

主婦の縫製技術光る

個性派、大作こいのぼり人気



干物やシーラカンスを題材にしたオリジナルこいのぼりを作る県東部の主婦チーム「ミセスミシン」がことし結成され、製作に励んでいる。県外からの注文もあり、40〜60代のメンバー15人が得意の縫製の技術を発揮している。(東部総局・中川琳)

県外からも注文 「ミセスミシン」5人の東部

和歌山県有田市から同市の特産タチウオのこいのぼり20点のほか、沼津市を舞台とした人気アニメ「ラブライブ！サンシャイン!!」のキャラクターをデザインしたオリジナルこいのぼりの生産を受注した。タチウオのこいのぼりのサイズは横約6尺、縦約1尺という。オリジナルこいのぼりの生産は、沼津市の販促企画会社「オフィスグルー」が5年前、干物の形をしたこいのぼり「ひものぼり」を製作したのがきっかけ。同社は縫製の経験があるタチウオのこいのぼりを製作するミセスミシンのメンバー15名が沼津市

つた富士宮市のパート赤池由貴恵さん(47)に依頼して製作し、毎年のように企業や観光団体などから注文を受けるようになった。ことし、赤池さんや同社が主婦らを中心に製作メンバーを募った。

こいのぼりに使う布は撥水(はっすい)加工を施しているため、「布が滑ってしまいまっすぐ縫うのが大変」と赤池さん。新メンバーの主婦近藤静恵さん(42)は「これだけ大きな作品は初めて。来年も作りたい」と意欲を見せる。

初島の津波対策安

熱海・地区協議会 陸間や遊

県熱海土木事務所と熱海市は24日、同市初島地区の津波対策地区協議会を初島会館で開いた。検討を進めてきた同地区津波対策の基本方針の素案を

北部の食堂街前にある「宮の前護岸」の開口部から津波の侵入を防ぐ陸間(こう)を整備する。北部から東部にかけての海岸沿いを中心に毎友の高小島中心

問い合わせはオフィスグルーへ 電話055(943)5290

安全運転管理推進2事業所に指定証

三島署で交付式

三島署と三島地区安全運転管理協会は24日、函南町と伊豆総業(三島市)を安全運転管理推進事業所に指定した。

同署で指定証交付式を開き、2事業所の代表者に高橋敏文署長と矢岸貞夫会長が指定証と横断幕を手渡した。高橋署長は「従業員の